

temjin

An impress Group Company

各 位

2018年1月24日

株式会社天夢人

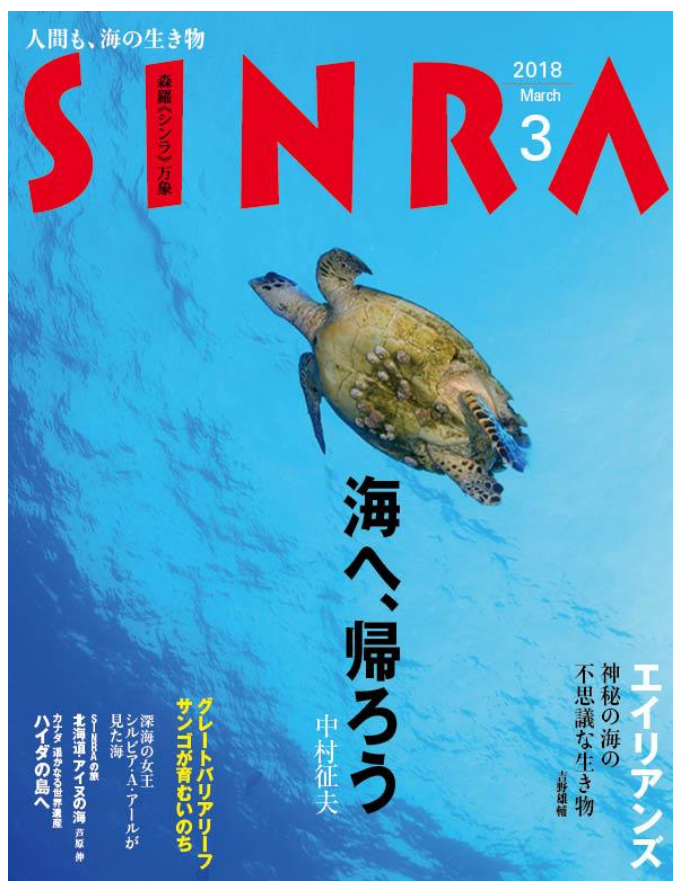
<http://temjin-g.com/>

『SINRA』2018年3月号発売！ 特集「海へ、帰ろう」

インプレスグループで鉄道・旅・自然メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都港区、代表取締役社長：唐島夏生）は、2018年1月24日に『SINRA』2018年3月号を発売した。

【特集】

「海へ、帰ろう」





「海へ、帰ろう」
 母なる海と未知なるディープオーシャンへの旅
 ～人間も、海の生き物～

生命、人類誕生の源である海。
 母なる海にはまだまだ未知なる世界が広がっています。
 特に人が到達することが困難な「深海」は、多くの謎と神秘のベールに包まれています。深海を知ることは、生命や地球環境の過去・現在、そして未来を考える上で重要な要素であり、海洋開発研究機構 (JAMSTEC) や世界中の専門機関などでさまざまな研究や探索がなされています。

“Mother Sea——、もう一度、母なる海へ、帰ろう——
 すべての生命は、海と関わりを持っています。海、深海に生息する見たこともない不思議な生物や自然現象などを知ることで、地球環境や生命の誕生、絶滅と再生などについて考えます。

特集案内人には、水中写真家・中村征夫さんを迎え、海の生き物たちが教えてくれる海の生命力、豊かさを綴っていただきます。巻頭グラフは、エイリアンのような深海生物たちをとらえた吉野雄輔さんのビジュアル。

そのほか、「深海の女王・シルビア・A・アールが見た海」「グレートバリアリーフのサンゴ」「スペシャル紀行・遥かなる世界遺産 カナダ ハイダ・グアイ」「SINRAの旅 北海道・アイヌの海」ほか、さまざまなテーマで海と深海の神秘に迫ります。

地球の表面積の70%が海で覆われているのに、これまで探査されたのはわずか5%。自然や生命はすべて海とつながり循環している。海と深海、地球と生命の神秘を探りに、母なる海へ。

2018年1月24日発売。定価1200円(税込)。
 全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。
 定期購読は Fujisan.co.jp (富士山マガジンサービス) へ
 『SINRA』3月号の詳細はこちら→ <http://sinraweb.jp/>

【巻頭特集グラフ】

「エイリアンズ～神秘の海にすむ不思議な生き物」

潜水歴 40 年以上、世界 80 カ国以上を旅した海洋写真家・吉野雄輔さんによる海の小さな命たちのビジュアルオデッセイ。エイリアンのような不思議な姿には、驚くべき構造や機能を備え、生命の神秘を感じさせます。



【巻頭特集グラフ&エッセイ】

「脆くしたたかな海への旅。」

中村征夫

特集案内人である水中写真家の第一人者・中村征夫さんによる巻頭グラフ&エッセイ。50 年以上にわたり海、水中写真を撮り続けてきた写真家が見つめる海の生き物たちは、たくましく賢明に命の営

みを繰り広げています。海と海の生き物たちへのやさしいまなざしがとらえた、永遠の海の物語。

脆く したたかな 海への旅。

「いまだに、海のことはいわかりません」
50年以上にわたって海を見てきた
水中写真家・中村征夫にとって、
海は今も謎に満ちているという。
母なる生命の海。美しくも深遠な
その魅力に迫る。

なかむら いくお 1935年、
秋田県生まれ。19歳のとき
水中写真家・中村征夫に出
会って以来、海への情熱は
ますます燃え上がる。近年、
映画『タイタニック』として
知られる。2009年、NHK
海上若しフォトギャラリー
『ブルーホールを開設、25年
に『旅の海』出版。近年
に『旅の海』出版。



25 SIMRA



エビトウチの海 slug
海に生息し、鮮やかな色彩を
持つ。動きを美しくし、
独特の匂いを出す。エビトウチ、
2009年、秋田県



27 SIMRA



ユメウメ(目玉)
動物もよく泳ぎ、夢のように泳いでいく
メダカは、ハブタニニニニ
アゲトコウカウカウカ(目)
長年の泳ぎで二匹も長く泳ぐ。夢ら
しい泳ぎは泳ぎの王様と見られる。2009年、
秋田県
メダカモク(目)
秋田県産のメダカ。『メダカモク』
『メダカモク』で知られているメダカモクです。
2009年、秋田県
メダカ(目)
秋田県産のメダカ。『メダカモク』
『メダカモク』で知られているメダカモクです。
2009年、秋田県

ひと呼吸を惜しみながら、
その神秘的な景観に
見入ったことは数知れない。

26

【特集スペシャルメッセージ1】

映画「ミッション・ブルー」

“深海の女王”シルビア・A・アールのメッセージ

“深海の女王”と呼ばれるアメリカ人海洋科学者で探検家のシルビア・A・アール博士。80歳を超えた今も現役ダイバーとして活躍する。彼女がリーダーを務める海の環境保全プロジェクト「ミッション・ブルー」の活動をはじめ、「しんかい6500」に乗り日本の海を探索するなど、海の研究を続ける彼女の挑戦に迫ります。



SINRA
Special
Message

映画「ミッション・ブルー」
“深海の女王”シルビア・A・アールの
メッセージ

“深海の女王陛下”とも“チコウザメ探検”とも称される、アメリカ女性海洋科学者・探検家のシルビア・A・アール博士。80歳を超えた今も、現役のダイバーとして世界各地の海に降り、サンゴ礁の海から数千米の深淵まで、あらゆる海を駆け回った彼女は、海洋環境の危機を感じ、保全のための活動「ミッション・ブルー」に取り組んでいる。
文：高橋真由美（編集） 協力：日本ダイビング

人類も
“海の生きもの”
です



【ミッション・ブルー】
海洋環境の保護や海洋資源の持続的利用を目的とした海洋探検活動の一環として、世界的に活動している海洋探検家シルビア・A・アール博士の活動に焦点を当てたドキュメンタリー映画「ミッション・ブルー」が、2014年公開された。

監督：ロバート・コック、フィッシャー・スティーヴンス、ジュゼッペ・カッパ、マリア・チグリー、シルビア・A・アール
制作：日本トランスオーシャン社（JTO）

<http://www.missionblue.jp/>

シルビア・A・アール博士は、アリゾナ・ニューポート州立大学、アリゾナ州立大学、デューク大学で博士号を取得し、海洋生物学を専攻し、在職最長の第一人者として高い評価を受けている。アリゾナ州立大学海洋生物系教授に在職しながら海洋生物学に没頭するが、探検家としての気風も受け、早稲に夢中した。潜水艇探検の700回以上、水深1000メートルの深淵まで行った。また、「地球儀（Google Earth/グーグル・アース）」の生みの母、として知られている。最近ではNASA、シオダクトプロジェクトの研究、環境保全プロジェクト「ミッション・ブルー」のリーダーとして、環境保全活動に力を注ぎ、探検家としての活動も続けている。

JAMSTEC(海洋研究開発機構)とは



1971年に海洋研究開発センターとして設立され、2004年に独立行政法人海洋研究開発機構に改組された。海洋研究開発機構は、海洋研究の推進、海洋資源の持続的利用、海洋環境の保全、海洋技術の開発、海洋教育の推進など、幅広い分野で活動している。また、国際的な海洋研究機関との連携も積極的に行っている。

2009年、Google Earth(グーグル・アース)「地球儀」の生みの母として知られるシルビア・A・アール博士が、JAMSTECの「しんかい6500」の探検に参加した。シルビア・A・アール博士は、アリゾナ・ニューポート州立大学、アリゾナ州立大学、デューク大学で博士号を取得し、海洋生物学を専攻し、在職最長の第一人者として高い評価を受けている。アリゾナ州立大学海洋生物系教授に在職しながら海洋生物学に没頭するが、探検家としての気風も受け、早稲に夢中した。潜水艇探検の700回以上、水深1000メートルの深淵まで行った。また、「地球儀（Google Earth/グーグル・アース）」の生みの母、として知られている。最近ではNASA、シオダクトプロジェクトの研究、環境保全プロジェクト「ミッション・ブルー」のリーダーとして、環境保全活動に力を注ぎ、探検家としての活動も続けている。



“深海の女王”が
見た日本の海

シルビア・A・アール博士は2009年、日本の海洋研究開発機構(JAMSTEC)の有人潜水調査艇「しんかい6500」に乗り込み、南海トラフの水深約1000メートルまで探検した。当時の海洋科学者としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。高橋真由美と共に行った。



2009年、「しんかい6500」で探検に参加したシルビア・A・アール博士。高橋真由美と共に行った。高橋真由美は、探検家としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。



「しんかい6500」の探検に参加したシルビア・A・アール博士。高橋真由美と共に行った。高橋真由美は、探検家としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。

「しんかい6500」の探検に参加したシルビア・A・アール博士。高橋真由美と共に行った。高橋真由美は、探検家としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。

「しんかい6500」の探検に参加したシルビア・A・アール博士。高橋真由美と共に行った。高橋真由美は、探検家としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。

「しんかい6500」の探検に参加したシルビア・A・アール博士。高橋真由美と共に行った。高橋真由美は、探検家としての矜持をJAMSTECのバイロッドだった。

【特集スペシャルメッセージ2】

「グレートバリアリーフ サンゴが産まれる日」

地球一豊かなサンゴを守れ

世界最大のサンゴ礁、世界遺産のグレートバリアリーフ。そこでは、年に一度、100種類以上のサンゴが一斉に産卵する現象が見られます。海のゆりかごともいわれるサンゴ礁は、温暖化による白化現象や環境汚染による問題も抱えています。海と生命、環境との関わりをサンゴから考える。

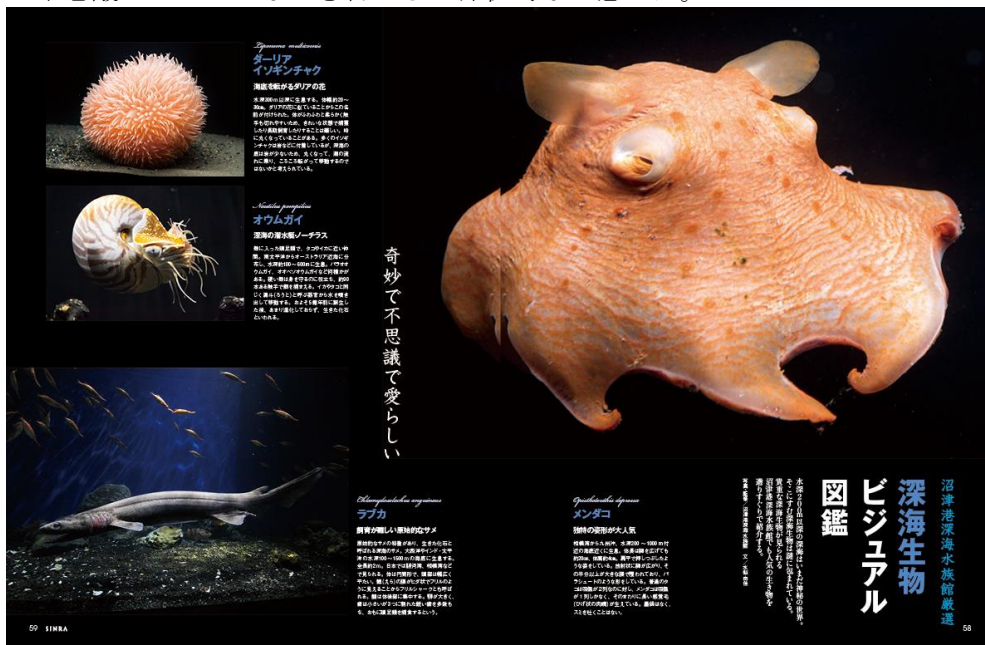


【グラフ&ガイド】

深海の不思議ワールド

「深海生物ビジュアル図鑑」

沼津港深海水族館で見られる人気の深海生物たちを紹介。深海 200メートル以深に生息する、奇妙で不思議でユニークな生き物たちの神秘的な生態とは。



【海の食ガイド】

「海の恵みのごちそうレシピ」

カナディアン・シーフードと大分の深海魚を味わう

新鮮なカナダ産のオマール・ロブスターとキングサーモン、大分の幻の深海魚・クログチと太刀魚を使ったおいしい簡単レシピを紹介。



カナダ産ロブスターのガーリック&ジンジャー焼き

新鮮なロブスターを堪能してしまえば、残った殻だけで濃厚なごちそうスープに。煮込みで殻から出た旨味をたっぷりと取り、クログチの旨味も合わせて味わおう。好きな食材をたっぷり使った、お洒落な盛り合わせもOK。

- 材料** 2人分
- ロブスター 1匹
 - 塩ゆかり 15g
 - ごま油 大さじ1杯
 - 醤油 大さじ2杯
 - オリーブオイル 大さじ2杯
 - ニンニク 大さじ1杯
 - 生姜 大さじ1杯
 - 酒 大さじ1杯
 - 水 大さじ1杯

- 1 ロブスターを殻から剥き出し、殻を洗い、殻を乾燥させる。
- 2 1の殻を乾燥させた後、塩ゆかりを殻の内側に塗る。
- 3 鍋に油を熱し、ニンニクと生姜を炒め、塩ゆかりを炒め、醤油を加え、酒を加えて煮込み、水を加えて煮詰める。
- 4 煮詰めたスープを、ロブスターの殻の下に注ぐ。
- 5 殻を煮込み、スープを煮詰める。
- 6 ニンニクと生姜を炒め、醤油を加え、酒を加えて煮込み、水を加えて煮詰める。
- 7 ロブスターを殻に注いだスープで煮込み、醤油を加えて煮詰める。

うま味たっぷりの殻の出汁スープでつくろいお米料理

焼いた殻から出たスープを、お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。

- 材料** 2人分
- ロブスター 1匹
 - お米 1杯
 - 醤油 大さじ2杯
 - 酒 大さじ1杯
 - 水 大さじ1杯
 - 塩 少々
 - オリーブオイル 大さじ1杯
 - ニンニク 大さじ1杯
 - 生姜 大さじ1杯

- 1 殻を洗い、乾燥させた後、塩ゆかりを殻の内側に塗る。
- 2 鍋に油を熱し、ニンニクと生姜を炒め、塩ゆかりを炒め、醤油を加え、酒を加えて煮込み、水を加えて煮詰める。
- 3 煮詰めたスープを、お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。
- 4 煮詰めたスープを、お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。

美味なるカナダ産 オマールロブスター

世界的に有名なカナダ産オマールロブスター。その殻は、殻から出た旨味をたっぷりと取り、クログチの旨味も合わせて味わおう。好きな食材をたっぷり使った、お洒落な盛り合わせもOK。

- 1 殻を洗い、乾燥させた後、塩ゆかりを殻の内側に塗る。
- 2 鍋に油を熱し、ニンニクと生姜を炒め、塩ゆかりを炒め、醤油を加え、酒を加えて煮込み、水を加えて煮詰める。
- 3 煮詰めたスープを、お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。
- 4 煮詰めたスープを、お米と一緒に煮込み、お米がスープの旨味をたっぷりと吸い取り、お洒落な盛り合わせもOK。

内部の旨味
大分県産のクログチは、山崎氏が「大分県産クログチ」をブランド名として、品質を高め、消費者に届ける。そのクログチは、山崎氏が「大分県産クログチ」をブランド名として、品質を高め、消費者に届ける。

海の恵みの カナディアンシーフードと大分の深海魚を味わう

レシピのごちそう

海を食べる！

【海と深海のカルチャー】

「海はどこから“深海”なのか？」

地球最深のマリアナ海溝、生命誕生や海底遺跡の謎、人類の海底探査の歴史など、海と深海にまつわるさまざまな疑問を紐解く。

海はどこから深海なのか?

深海とは、水深1000m以上の海域を指す。水深1000m以上の海域は、日光がほとんど届かず、生物の多様性が減少する。深海には、クログチや太刀魚などの深海魚が住んでいる。

日光が透る深さ 水深 0~100m
日光が透る深さ。生物の多様性が最も高い。クログチや太刀魚などの深海魚が住んでいる。

日光があまり当たらない 水深 100~1000m
日光があまり当たらない。生物の多様性が減少する。クログチや太刀魚などの深海魚が住んでいる。

日光が届かない深さ 水深 1000~4000m
日光が届かない深さ。生物の多様性が最も低い。クログチや太刀魚などの深海魚が住んでいる。

深層と海溝 水深 4000m 以上
深層と海溝。生物の多様性が最も低い。クログチや太刀魚などの深海魚が住んでいる。

【スペシャル紀行】

地球はまだ面白い 「カナダ ハイダ・グアイ 遥かなる世界遺産」

カナダ・バンクーバーから小型飛行機で2時間ほどの北大西洋の島ハイダ・グアイ。苔むした太古の森とそこに暮らす独自の文化を育んできた人々たちの歴史と今を訪ねる。数多く残るトーテムポールが見つめてきたものとは？



【SINRA の旅】

北海道・オホーツク海

「アイヌの海」

芦原 伸

豊かな海の生命が息づくオホーツク海。北海道の先住民であるアイヌの人たちは海の民でもあった。縄文、オホーツク、そしてアイヌ文化へとつながる人々の歴史は、北方民族との関わりなど北海道という土地ならではの物語がある。過去と現在、そして未来へつなぐ時空の旅。



【森羅万象エッセイ】

- ◆見城美枝子「地球あつてのこと」
- ◆佐高 信「冬の日本海に心寄せる」
- ◆川島小鳥「100%の自分で」

【連載エッセイ】

玉村豊男「田園遊歩」

椎名 誠「ぼ・く・ら・は・み・ん・な・い・き・て・い・る」

【グラフ連載】

吉野 信の Field Report

「シベリアからの刺客 コミミズク」

【スペシャル・トークイベントのご案内】

★京橋エドグラン・京橋縁カレッジ★

「大人の森羅万象学～不思議の海に誘われて 東京湾の命の物語（仮）」

水中写真家・中村征夫さん × 本誌統括編集長・芦原 伸 対談

2月22日（木）19：00～20：30 参加費 2000円

本号特集と連動し、特集案内人でもある水中写真家の中村征夫さんと本誌統括編集長の芦原 伸による「海、深海、東京湾、生命」などをテーマとしたトークイベントを開催する予定です。アフターファイブに森羅万象をテーマに遊び学ぶ講座です。参加ご希望の方は下記HPよりお申込みください。
http://www.kyobashi-en-college.tokyo/class_sinra.html

【株式会社天夢人】 <http://temjin-g.com/>

2007年設立。現在『旅と鉄道』（発売：山と溪谷社）と『SINRA』（発売：新潮社）の2誌を発行しています。歴史や民俗、鉄道や文化遺産、食文化や音楽などを見聞し、伝える雑誌や書籍を発行・編集し、豊かな人生をおくるための生活情報を発信していきます。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ＋サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 SINRA 編集部 担当：野口／武田

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: noguchi@temjin-g.com

URL: <http://temjin-g.com>